



学校だより 穂波 平

令和7年度 第12号
富士宮市立富士宮第四中学校
静岡県富士宮市穂波町13-1
TEL26-2944/FAX22-1498

校訓
考える

学校教育目標 「志をもち、主体的に行動する生徒」

- 自ら学び、共に深め合う授業
- 自他の良さを認め、共に高め合う集団
- 自ら鍛え、共に磨き合う心と体
- 地域と共に生きる姿勢

「小さな努力の積み重ねが大きな成果を生む」 校長 佐藤 哲洋

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが2月6日から22日まで開催されました。17日間にわたり熱戦が繰り広げられ、日本人選手も含め、多くのアスリートの活躍は私たちに勇気と元気を与えてくれました。冬季オリンピックの競技は危険を伴うものが多く、この技術を身に付けるには相当な時間と労力が必要だろうと、私はあらためて感じました。そして、極めて短時間で勝負が決まる競技が多く、オリンピックを目指して、長い時間をかけて鍛錬してきたものを、その一瞬で表現しなければならないという厳しさも感じました。例えば、スノーボードのビッグエアという競技は、巨大なジャンプ台から飛び出して、空中で難度の高い技を披露して、その完成度を競います。3本挑戦できますが、演技は一瞬で終わります。長い時間をかけて磨いてきた技の全てをその1本に出し切ることができるよう準備することは容易なことではないと思います。選手たちは、準備してきた過程をお互いに理解できるからこそ、演技がどのような結果であってもお互いの挑戦を称え合うのです。

先日、市内中学校特別支援学級の学習発表会を参観しました。四中は、一中、芝川中と合同で開催し、合奏、演劇、合唱を披露しました。私はこの学習発表会で演技する生徒の姿を見て、とても感動しました。それは、できなかったことをできるようにする努力の跡をそこに見ることができたからです。合奏も、演劇も、合唱も最初から本番当日のようにうまくできていたわけではありません。この学習発表会に向けて、限られた時間の中で精一杯練習を重ねてきたことがはっきりと分かりました。さらに、当日の演技は一人の力でできることではなく、仲間と共に心と力を合わせて成し遂げた成果です。一人一人が自分の役割を果たすと同時に、相手のことも考えながら活動することでよりよい演技ができるようになります。そのことが、この学習発表会では表現されていました。

オリンピックも、私たちの日常の生活も共通することがあります。これからの人生においても、本番の勝負の時は必ずあります。その時に大きな成果を残すためには、日頃の小さな努力の積み重ねがとても大切です。何も努力をしないで、その時だけうまくやろうというのは無理ですし、たとえうまくいったとしてもそこに価値はありません。振り返ってみれば、皆さんのこれまでの生活もそうだったと思います。四魂祭本番を成功させるために、日常での練習、努力があります。高校入試での一発勝負の試験を乗り切るために、授業や家庭での学習に一生懸命取り組んでいます。日常の小さな努力の積み重ねをおろそかにしない生活をしましょう。その積み重ねが大きな成果となり、価値ある人生、幸せな人生につながっていきます。皆さんの人生が豊かで幸せなものになることを心から祈っています。

特別支援学級学習発表会 於：くれないどる芝楽

2月20日(金)、特別支援学級学習発表会が富士宮第一中学校特別支援学級、芝川中学校特別支援学級と合同で開催されました。四中生は、合奏「リメンバー・ミー」、劇「タイムトリップ～未来へつづく物語～」、3校合同合唱「幸せ」を披露しました。学習発表会に向け、日々の練習を積み重ね、当日は、保護者や他校の生徒、先生の前での発表となり、緊張したと思いますが、堂々とした演奏や劇、合唱を披露することができました。



3年生を送る会

3月9日(月)、3年生を送る会が行われました。はじめに、応援団が3年生へ力強いエールを送り、会場全体が温かい一体感に包まれました。続いて、1・2年生代表の市川愛菜さんから、3年生への感謝の言葉とともに、「これからは私たちが先輩方の築いてくださった学校の良さを受け継いでいきます」という力強い決意が伝えられました。その後、1・2年生による「栄光の架橋」の合唱が披露され、3年生へのまっすぐな思いが会場に響きました。

3年生からは、川上新太さんが「皆さんも自分が好きだと思えるもの、一生懸命取り組みたいものを見付けてほしい」と1・2年生へ向けて温かいメッセージを送り、「お互いに高め合い、一体感のある学校にしていってほしい」という願いが語られました。その言葉に続き、「僕のこと」の合唱が披露され、卒業を目前にした3年生の思いがしっかりと在校生へ届けられました。会の締めくくりには、全校で「FOREVER」を合唱し、3年生の新たな門出を心から祝いました。また、1・2年生からの贈り物として、協力して制作したちぎり絵アートと、水引3本を結んで作ったあわじ結びのしおりが3年生に手渡されました。3年生からは、先輩ならではの視点で学校生活のアドバイスをまとめたカレンダーが1・2年生に贈られました。3年生にとって思い出に残る、そして1・2年生にとっても先輩の姿を胸に刻む、温かく心の通う会となりました。



ベルマークで購入しました

四中で集め、PTA家庭教育委員会が中心となって仕分け・預金手続きを行っているベルマーク167,751円分で「教室用電波掛け時計」27個を購入しました。3月9日の表彰集会で贈呈され、生徒にお披露目されました。

